

4.1 教育に関わる法令

当初、教育を規制する法律は 2 つ、すなわち 1961 年の教育法ならびに 1971 年の大学 / 大学付属カレッジ法があった。1961 年の教育法が初等教育および中等教育を規制するのに対し、1971 年の大学 / 大学付属カレッジ法は高等教育を規制していた。これらの 2 つの法律は、1995 年後期に 2 つの新たな法律に置き換えられた。1996 年初めに別の 2 つの新法、そして 1996 年 4 月末に更に 1 つの法律が通過し、現在、次の 5 つの法律によって規定されている。

- (1) 1995 年 教育法
- (2) 1995 年 大学 / 大学付属カレッジ (改正)法
- (3) 1996 年 私立高等教育機関法
- (4) 1996 年 国家高等教育評議会法
- (5) 1996 年 国家認定審議会法

1996 年初めに導入された 3 つの法律は、私立の高等教育機関の設立を統制し、提供される修了証書および課程の基準厳守ならびに認定過程を規制するものであった。民間教育センターあるいは私立学校の設立は、主として 3 種類の法律文書によって規定されている。すなわち、1961 年の教育法、1969 年の本質 (高等教育機関)規制、および 1971 年の大学 / 大学付属カレッジ法である。

民間教育は、次の種類で構成されている。

- (1) 就学前教育
- (2) 私立初等および中等教育
- (3) 標準私立教育機関
- (4) 中国語私立教育機関
- (5) 国外在住者私立教育機関 / 国際学校
- (6) 技能訓練機関
- (7) 指導センター
- (8) 語学センター
- (9) 私立教育カレッジ (中等教育後レベル)
- (10) 私立大学

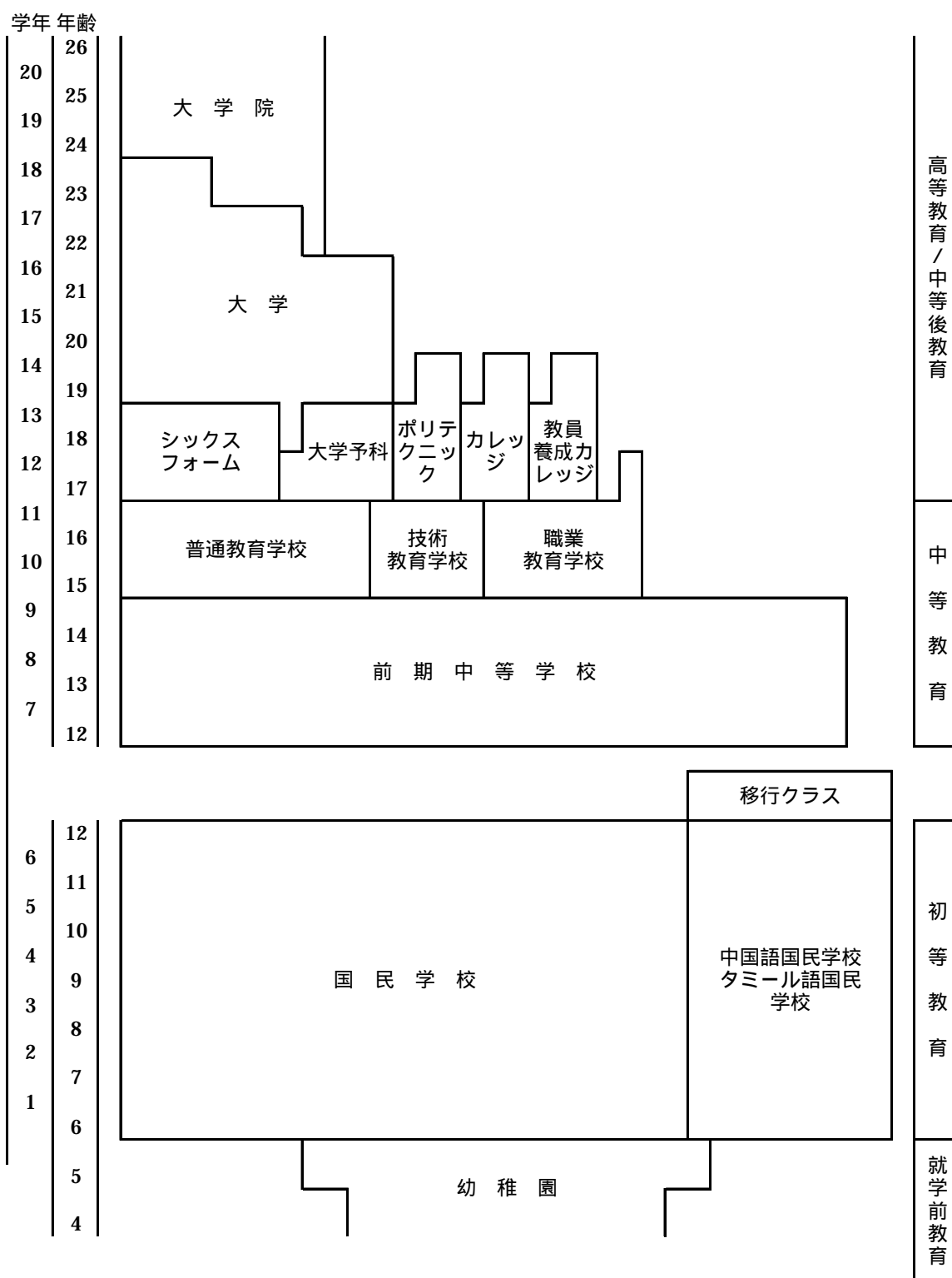
4.2 学校教育制度

政府の教育計画および活動のねらいは、特に次のとおりである。

- ・ 知性面、精神面、感情面および身体面で釣合いがとれた、実用的な教養のある個人を育成するために、全人的かつ統合された方法で、生徒に基本的な技能を身につけさせること。
- ・ 国家統一および国家の同一性を促進するために、共通の理想、価値観、目標および忠誠心を高めることにより、国家意識を教え育むこと。
- ・ 経済および国家の発展のために技能を持った人材を育成すること。
- ・ 学生に望ましい価値観を植え付け、国家建設に向けて有効に貢献できるようにすること。

過去 10 年にわたり、教育課程は国の需要に合わせて刷新されてきた。とりわけ、PSIC (Primary School Integrated Curriculum：初等教育統合教育課程)、すなわち KBSR (Kurikulum Bersepadu Sekolah Rendah)が採用され、初等学校では、読み書き算術能力に重点が置かれている。中等学校では、NCSS (New Curriculum for Secondary School：中等学校新教育課程)、すなわち KBSM (Kurikulum Bersepadu Sekolah Menengah)が採用され、知識社会の開発に向けて、個人の能力を構築する統合された取組みに重点が置かれている。市民性、国家統一および道徳育成の重要面が強調され、生活技能 (処理技能、起業家精神および家庭生活教育)、言語 (コミュニケーション技能)および情報技術が、中等学校の教育課程に導入された。

国家統合を実現するために、政府はまた、国の 3 つの主要民族集団の 3 種類の教育語すなわちマレー語、中国語およびタミール語を 1 つの学内に共存させる「構想初等学校」を展開した。この学校は、3 集団それぞれの運営者および教員によって管理されている。



* 出典：文部省編、「諸外国の学校教育 (アジア・オセアニア・アフリカ編)」、71 ページの表を一部修正、1996年10月。

図 4-1 学校教育制度

表 4-1 公立初等学校および公立中等学校数 (単位：校)

学校の種類	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年
初等学校	7,160	7,231	7,326	7,421	7,498
中等学校	1,624	1,670	1,759	1,856	1,916
一般教養	1,520	1,561	1,641	1,733	1,795
職業	4	4	4	2	1
技術	76	80	81	84	85
科学カレッジ	24	25	33	37	35

* 出典：Ministry of Education (教育省) Website, <http://www.moe.gov.my/>

教育省は、最近の技術の発展、とりわけ情報技術の発展に追随するために、マレーシアの MSC (Multimedia Super Corridor) 計画に準じて、最先端技術に投資することによりビジョン 2020 を達成しようとする国の運動を支援できるよう、教育制度を変換することとし、技術支援型のスマートスクールを開発することにより、すべての生徒の思考力、創造性および関心を高めようとしている。1999 年までに、一団として 90 校が選択され、概念、材料、技能および技術を教育するスマートスクールの最終的な全国展開の中核としての役割を果たす。2010 年までに初等および中等学校の 10,000 校すべてをスマートスクールとする計画である。

- 初等教育

子供が 7 歳になると 6 年間の初等教育に就学し、中等レベルに進学する前に十分な基礎が築かれる。6 年目の終わりに、生徒は PSAT (Primary School Assessment Test：初等教育成績評価試験) すなわち UPSR (Ujian Penilaian Sekolah Rendah) を受験する。成績の良い生徒は、全寮制の中等学校に選抜され、遠隔地および低所得世帯の生徒には優先権が与えられる。公立小学校の種類は教育語の違いによって次のとおりに分けられる。

- (1) 国立小学校
- (2) 国立中国語小学校
- (3) 国立タミール語小学校

- 中等教育

中等学校の種類は次のとおりである。

- (1) 国立中学校
- (2) 国立アラビア語 / 宗教学校
- (3) 中等技術学校
- (4) 国立寄宿学校

中等学校レベルの最初の 3 年間で、学生は LSA (Lower Secondary Assessment：前期中等教育成績評価) すなわち PMR (Penilaian Menengah Rendah) で受験する基本科目を学習し、その成績評価の結果により、後期中等教育において、人文、科学、技術あるいは職業のうちいずれの課程に進むべきかが決定される。

後期中等レベルに進学する生徒および進路課程の選択は、教育省が決定する。後期中等教育の 2 年目の終わりに、生徒は強制的に全国試験である MCE (Malaysian Certificate of Education：マレーシア教育修了証明試験)すなわち SPM (Sijil Pelajaran Malaysia) あるいは職業課程の場合には、MCE-V (Malaysia Certificate of Education - Vocational：マレーシア職業教育修了証明試験)すなわち SPM-V (Sijil Pelajaran Malaysia - Vokasional)による評価を受ける。MCE/MCE-V の証明試験は、ケンブリッジ大学の O レベル試験に相当する。

- ・ 中等後教育

学生は中等後学校の 2 年課程のシックスフォーム、大学準備課程、カレッジおよびそのほかの高等教育訓練機関が提供する修了証書 / 卒業証書の課程のいずれかに進学することができる。

- (1) シックスフォーム

MHSC (Malaysian Higher School Certificate：マレーシア高等教育修了証明試験)すなわち STPM (Sijil Tinggi Persekolahan Malaysia)を受験し、これが地元の大学および高等教育機関への入学資格証明となる。

- (2) 大学準備教育課程

A レベル教育課程と大学入学資格教育課程に分類される。これらの課程への進学は、SPM/SPM-V の成績に基づいている。A レベル教育課程については、進路課程は人文、科学あるいは技術にクラスが分けられており、学生はマレーシア試験評議会が主催する英国の UCLES (University of Cambridge Local Examination Syndicate：ケンブリッジ大学試験評議会)が認定した試験を受ける必要がある。この資格証明は、全世界のほとんどの大学により承認されている。

- (3) 大学入学資格教育課程

地元の大学に入学するために構成されている。これは 1 年間の一般教養基礎課程で、主催大学によって監視されており、教育はそれぞれの寄宿 / 私立学校が行っている。課程の最後の試験で優れた成績をあげた生徒は、主催大学に受け入れられる。

- ・ 中等後職業教育

職業課程のクラスに入学する生徒は、普通学校の授業計画と同じほかの学科とともに、職業科目を学習する。学生は 2 年目の終わりに、MCE-V すなわち SPM-V を受験しなければならない。成績が優秀であった学生は、地元の高等教育機関の進学あるいは労働市場に参入することができる。技能訓練課程は選択制の課程である。生徒は、教育課程 2 年目の終わりに NVTC (National Vocational Training Council：国家職業訓練審議会)すなわち MLVK (Majlis Latihan Vokasional Kebangsaan)の試験を受験できるように技能訓練課程を受講する。その後は、労働市場に参入するか、あるいは選択分野の高度技能訓練を受講する。

- 高等教育

高等教育機関は、ポリテクニク、カレッジおよび大学の 3 種類に分類することができる。

入学者選抜の要件は、量および質の両方について、大学の目的と常に関係している。大学およびカレッジはその目的が極めて多様化しているため、入学選抜の要件も同様に異なっている。一般的に大学に進学を志願する者は、大学が要求する学問的資格を持っていないなければならない。大学が提示する学問的資格を持っていない志願者の応募は考慮されていない。学問的資格は、2 種類すなわち一般的要件と学科課程の要件に分類される。

・ ポリテクニク

1969 年以降に設立され、技術および職業分野を専攻する学生に工学および商業の訓練を提供している。学生は卒業すると、卒業証書または修了証書を授与される。ポリテクニクの入学要件は、SPM/SPM-V 資格証明もしくはこれと同等の資格である。卒業証書授与のための全日制課程は 3 年間、修了証書では 2 年間である。

・ カレッジ

教員訓練カレッジが 30 校あり、これとは別に公立カレッジ 2 校、すなわち ITM (Institut Teknologi MARA) および KTAR (Kolej Tunku Abdul Rahman) がある。ITM は 1956 年に、KTAR は 1969 年にそれぞれ設立された。これらのカレッジは、特に商業、応用科学および技術分野の修了証書、卒業証書ならびに大学準備課程の提供を行っている。

・ 大学付属カレッジ

雇用市場の、とりわけ工学部門における科学技術系の卒業生の不足に対応するために創設された。また、学位レベルまで研究を続けようとする技術職業分野の学生も視野に入れられている。創設された大学付属カレッジは次のとおりである。

(a) Kolej Universiti Tun Hussein Onn

(b) Kolej Universiti Teknikal dan Kejuruteraan Malaysia

(c) Kolej Universiti Sains & Teknologi Malaysia

(d) Kolej Universiti Kejuruteraan Utara Malaysia

(e) Kolej Universiti Islam Malaysia

・ 大学

公立大学 10 校および国際大学 1 校がある。

大学では、卒業証書、大学部、大学院の研究課程を提供している。公立機関のほかに、300 を超える私立の教育機関/センター/カレッジがあり、高等教育の一部の形態の提供に参画している。このうち 23 の機関は、主として英国、米国、カナダ、オーストラリアおよびニュージーランドの大学との「提携課程」の提供に従事している。

先ごろ、教育に関する新たな法令が通過し、国の高等教育の重要な包括的改革の一部となった。これにより UNITEL (Universiti Telekom) の指導で私

立大学が設立され、後に MMU (Multimedia University)、UNITEN (Universiti Tenaga Nasional)、および UTP (Universiti Teknologi Petrcnas)と改名された。

表 4-2 大学および専門分野

大 学	所在地	学問的中核分野
UM (Universiti Malaya)	クアラルンプール	自然科学、人文科学、社会科学など
UKM (Universiti Kebangsaan Malaysia)	セランゴル、クアラルンプール、サラワク	自然科学、人文科学、社会科学など
USM (Universiti Sains Malaysia)	ペナン、ケランタン、ペラ	自然科学、人文科学、社会科学、科学技術
UPM (Universiti Purta Malaysia)	セランゴル、トレンガヌ、サバ	自然科学、農学、科学技術
UTM (Universiti Teknologi Malaysia)	ジョホール、クアラルンプール	科学技術、技術 / 工学
UUM (Universiti Utara Malaysia)	ケダー	経営科学 / 会計
UNIMAS (Universiti Malaysia Sarawak)	サラワク	サラワクの開発需要に限定
UMS (Universiti Malaysia Sabah)	サバ	サバの開発需要に限定
UIA (Universiti Islam Antarabangsa)	クアラルンプール、セランゴル	自然科学、人文科学、イスラム研究
Universiti Perguruan Sultan Idris	タンジュンマリ、セランゴル	教育課程、教育
UiTM (Universiti Teknologi MARA)	シャーアラム (本部)、全州 (支部)	自然科学、科学技術、工学技術、社会科学、人文科学

4.3 学校外教育制度

教育制度は、MCE/MCE-V などの強制試験において成績が良くなかった学生に対して、ほかの学校に入学せずに再試験を受けることを認めている。再受験者は、入学希望者と同時に受験する。第3次レベルでは、勤労者は、卒業証書、学位および大学院レベルの公開大学そのほかの地元の大学が提供する通信教育課程に入学することが認められている。これは、生涯教育構想ならびに政府が採択した知識労働者戦略を実現する目標に準じている。

教育省は、教員のための通信教育による生涯教育を推進している。第一学位、修士号あるいは博士号などの新たな資格証明を実現すれば、昇進あるいは職歴に有利になると考えられる。技術教育および職業教育においては、認定されなかった以前の

学習到達度が高等学位の証明として見なされる。これは、実務経験あるいは未完了の訓練のいずれかにかかわらず、以前習得した内容が履修証明に移行されたものと考えられる。

ICT (Information and Communication Technology)リテラシーは、学校外訓練センターで実施されている生涯教育のもう1つの分野である。これは、指名省庁が企画した特別地域プログラムに基づいて、勤労成人あるいは青少年に対して行われている。

4.4 教育機関の組織

2004年3月の総選挙後、教育省の役割が合理化され、初等教育および中等教育のみに集中する一方、高等教育は、新たに創設された高等教育省によって管理されることになった。

高等教育省は、ポリテクニクの運営を含めて、高等教育機関の活動の調整および監視を行う。

各教育機関は、その運営機能を調整して、その教育的使命を最大限果している。機関統轄の構造は、大学間で極めて類似しており、公法律に定義されている。副学長は、大学の最高経営責任者であり、3名の副学長代理、すなわち開発担当副学長代理、学科担当副学長代理および学務担当副学長代理が補佐している。学籍係は、大学の事務局長である。図書館長は司書を統率し、出納長は金銭問題を預かっている。1995年の大学/大学付属カレッジ法に従うと、大学の最高権威は、運営審議会(評議会)および理事会である。評議会は、職員の職務条件、施設の維持および財政問題などの管理を統制している。大学の理事会は、学科課程、研究、試験の監督および指導に責任を負い、学位、卒業証書および修了証書を授与する権限を与えられている。各団体の会員は、大学の定款のとおり、さまざまな関連当局により選出され任命される。

大学の入学者選抜方針は、学部/学科、運営審議会および統轄審議会の責任である。方針は明記され、公表されている。この方針の運営責任を負う個人あるいは機関は、学籍事務局の入学者選抜記録部である。

(1) 大学入学のための一般的要件

(a) 言語

志願者は、Bahasa Melayu / マレー語の筆記および会話の両方について十分な水準に達していなければならない。また、十分な英語の知識を習得していなければならない。

(b) 健康

志願者は、政府あるいは民間の病院/診療所の保健責任者によって、健康であることが証明された場合のみ、大学に受け入れられる。

(2) 学科課程の要件

(a) 大学院課程

博士課程、修士課程および大学院卒業証書に分類される。

博士課程の入学資格要件は、大学あるいは大学の理事会が認可したそのほかの高等教育機関で取得した上位の修士号、大学の理事会が認定した実務経験を伴う修士号と同等のそのほかの資格、または理事会の承認を条件として、志願者が学部の大学院委員会の推薦を受けて大学の修士課程に在学していることである。

修士号の入学要件は、大学あるいは理事会が認可したそのほかの高等教育機関で取得した優等の学士号、理事会が認定した関連分野における学士号と同等のそのほかの資格および実務経験である。

大学院卒業証明の入学要件は、大学の学士号あるいは同等の資格、または理事会が認定したそのほかの資格および経験である。

(b) 大学部課程

入学資格の最低要件は、MCE において少なくとも 2 級あるいはこれと同等であること、または少なくとも 5 教科、Bahasa Melayu / マレー語、数学およびそのほか 2 教科における成績が良であることである。また、上記の資格は 1 回の試験で取得されなければならない。

(c) 卒業証書課程

MCE において少なくとも 2 級あるいはこれと同等であること、または少なくとも 3 教科、Bahasa Melayu / マレー語、数学およびそのほか 1 教科における成績が良であることである。また、上記の資格は 1 回の試験で取得されなければならない。

ほとんどの大学院および卒業証明課程の入学は、公開入学者選抜方針に基づいて認められる。応募書類は、関係大学に直接提出されるが、学士号および統合課程の応募書類は、高等教育省が組織し、調整する Unit Pusat Universiti (大学統一部)により一括して集められる。この部は適格に志願者を選抜し、該当する大学にそれぞれを割り当てる。

4.5 教育関係予算

表 4-3 年間教育予算の配分

予算基準	2003 年	2004 年	2005 年
金額 (10 億リンギット)	23.0	20.2	21.5
合計 (10 億リンギット)	85.1	80.8	89.1
割合 (%)	27	25	24

*出典：Ministry of Finance (財務省) Website, <http://www.treasury.gov.my/>

政府は、年間予算配分全体のおよそ 25%を割り当てることにより、国民の教育に優先権を与えている。2004 年に、政府は ICT を利用して英語で自然科学および数学の教育を行うことを決定した。政府は昨年、学校のコンピュータ導入計画に

63,700 万リンギットを割り当てた。すべての子供に基礎義務教育を提供する政府の目標に沿って、貧困学生のための信託基金が 2003 年 6 月に創設され、2 億リンギットが基金に割り当てられ、貧困学生が教育を継続できるよう援助が行われている。

4.6 奨学制度

IHL (Institutions of Higher Learning：高等教育機関)が企業化されるため、政府は全体的に公立 IHL に対する財政援助を 46%削減した。学生は、以前政府が全額提供していた 1 学期当たり約 1,600 リンギットの学籍登録料を支払わなければならない。NHEFC (National Higher Education Fund Corporation：国家高等教育基金公社)すなわち PTPTN (Perbadanan Tabung Pendidikan Tinggi Nasional)が設立され、高等教育機関の学生の財政的支援が行われている。

公立高等教育機関の学生には 6,500 リンギット、私立高等教育機関の学生には 12,000 リンギットの年間融資が与えられ、学費の財政援助が行われている。2004 年に、政府は融資利率を 4%から 3%に下げ、返済は卒業生が就職したあと 3 年目に開始されることになる。さらに、返済予定も繰り延べられ、借り手は最初の 5 年間は月額所得の 5%、残りの返済期間は 10%で融資の返済を行うことができるようになる。

そのほか、商業銀行に加えて、多くの政府団体および民間団体が、可能な学生に奨学金および教育ローンを提供している。政府機関の PSD (Public Services Department：公益事業部)および MARA は、転換融資の形で学生を後援する 2 つの主要政府機関である。研究において好成績を達成した学生については、これらの機関が融資を奨学金に転換させている。Telekom Berhad、Tenaga Nasional Berhad および Petronas など、政府と提携しているほかの企業は普通、優秀な学生に対して、国内あるいは国外のいずれにおいても、一定額の奨学金を配分している。

4.7 実施状況

4.7.1 就学率

表 4-4 ある地域における高等教育機関の学位課程の入学者数*

課 程	1995 年		2000 年		2005 年	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
人文	44,886	59.3	81,914	48.0	103,846	42.5
人文および人文科学	22,262	-	40,130	-	48,208	-
経済および経営	20,072	-	37,875	-	50,522	-
法学	2,552	-	3,909	-	5,116	-
科学	18,171	24.0	49,575	29.0	71,897	29.4
医学および歯学	3,738	-	6,908	-	8,656	-
農学および関連学科	2,472	-	4,940	-	5,961	-
純粋科学	4,032	-	9,081	-	14,739	-
そのほか	7,929	-	28,646	-	42,541	-
技術	12,652	16.7	39,305	23.0	68,784	28.1
工学技術	9,756	-	31,494	-	57,684	-
建築、都市計画、お よび測量	1,397	-	4,682	-	7,920	-
そのほか	1,499	-	3,129	-	3,180	-
合 計	75,709	100.0	170,794	100.0	244,527	100.0

*：2000年の国勢調査において、高等教育を修了した結果、修了証明/卒業証明/学位を取得した者、ならびに技術もしくは職業技能の修了証明/卒業証明を取得した者すべてを指す。

*出典：Prime Minister's Department, EPU (Economic Planning Unit), "8th Malaysia Plan."

Prime Minister's Department, EPU Website, <http://www.epu.jpm.my/>

表 4-5 国立の初等学校および中等学校の学生数

学校	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年
初等学校	2,892,741	2,933,877	2,943,152	2,989,284	2,996,780
中等学校	1,978,133	2,014,205	2,056,306	2,074,271	2,084,747
一般教養	1,912,858	1,938,356	1,970,655	1,983,846	2,022,781
職業	958	1,261	1,356	499	96
技術	49,674	59,164	66,251	68,611	38,291
科学カレッジ	14,643	15,424	18,044	21,315	23,579

*出典：Ministry of Education Website, <http://www.moe.gov.my/>

初等教育は、合計6年間に及ぶ。そのねらいは、生徒に読み書き算術(3R)に熟達する十分な基礎を身につけさせることである。6年目の終わりに、小学校の

生徒は、PSAT、すなわち UPSR の評価を受ける。PSAT の成績にかかわらず、すべての小学校の生徒は、中等教育の基礎学年であるフォーム 1 に進学する。中等教育は、初等レベルの教育の続きである。授業計画の SSIC (Secondary School Integrated Curriculum：中等教育統合教育課程)すなわち KBSM は、国の需要および目標にあわせて策定されている。中等教育は、3 種類の主要レベルすなわち前期中等レベル、後期中等レベルおよび大学準備レベル、ならびに 4 種類の学校、すなわち一般教養学校、職業学校、技術学校および科学カレッジに分かれている。

4.7.2 カリキュラム

表 4-6 一般的な学科要件

卒業証書 / 学位	最少履修単位	最少 / 最大許容 学期 (定時制)	入学要件	省略形
Diploma (卒業証書)	90	6/10	SPM/O レベル	-
Undergraduate Degree (大学部学位)	150	8/14	STPM/A レベル	B Sc、B.A. など
Master's Degree (修士号)	24	2/6 (4/10)	学士号	M.A、M Sc.など
Postgraduate Degree (大学院卒業証書)	20	2/4 (3/8)	学士号	Diploma (卒業証書)
Doctor of Philosophy (博士号)	60	6/14 (8/18)	修士号	Ph.D.

表 4-7 取得評点、成績、換算評点の配分

取得評点	成績	換算評点
85 ~ 100	A	4.0
80 ~ 84	A-	3.7
75 ~ 79	B+	3.3
70 ~ 74	B	3.0
65 ~ 69	B-	2.7
60 ~ 64	C+	2.3
55 ~ 59	C	2.0
50 ~ 54	C-	1.7
45 ~ 49	D+	1.3
40 ~ 44	D	1.0
00 ~ 39	F	0.0

表 4-8 学科授与および資格証明

卒業証書課程	GPA 等級付け
1 級卒業証明	3.70 ~
2 級卒業証明	2.00 ~ 3.70
大学部学位課程	
1 級優等	3.70 ~
2 級優等	3.00 ~ 3.70
2 級下優等	2.30 ~ 3.00
3 級あるいは普通学位	2.00 ~ 2.30
大学院課程 (修士号 / 博士号)	
授与資格認可	3.00 ~
条件付合格 (授与資格不適格)	2.70 ~ 3.00
不合格	~ 2.70

4.7.3 専攻分野別卒業生数

全国レベルにおいて主流の教育分野は、社会科学、経営および法律 (35.4%) であり、続いて工学技術、建設および技能訓練 (22.6%)、そして教育 (15.4%) であった。この傾向は、ほとんどすべての州に当てはまり、3 つの主要教育分野が全体のほぼ 4 分の 3 を占めていた。

表 4-9 ある地域における高等教育機関の学位課程の卒業生数 (単位：人)

課 程	2000 年	2005 年
人文	78,433	131,764
人文および人文科学	40,612	64,187
経済および経営	34,261	62,252
法学	3,560	5,325
科学	34,805	91,607
医学および歯学	4,019	7,716
農学および関連学科	4,409	8,935
純粋科学	6,502	17,408
そのほか	19,875	57,548
技術	22,765	66,007
工学技術	16,980	53,822
建築、都市計画および測量	3,201	8,302
そのほか	2,584	3,883

* 出典：Prime Minister's Department, EPU, "8th Malaysia Plan."

Prime Minister's Department, EPU Website, <http://www.epu.jpm.my/>

4.8 外国語能力

4.8.1 日本語能力

日本人学校は、国外在住者の子供を対象としており、そこでの公用語は日本語で、文部省の教育課程に準じている。全日制の生徒数は、学校の場所により 100～600 人である。普通課程の運営に加えて、地元地域社会との関係を向上させる課程も実施されている。

現地で日本語の語学力があるのは、日本企業に勤務する者、日本の大学を卒業した者または別途日本語講座を受けた者に限られている。民間の語学指導センターがあり、個人で日本語あるいはそのほかの語学講座を受けることができる。

4.8.2 英語能力

仕事および日常会話において第 2 言語として英語が使用されている。一部の地方テレビ局は、ニュースおよび番組を英語で放送しており、地元の日刊英字新聞が 3 紙ある。英語は民間部門でより広く使用されているが、公用語のマレー語も公的部門と民間部門の両方で使用されている。

英語は初等教育 1 年から中等教育 5 年まで教えられており、主要な試験で選択しなければならない必須科目である。初等および中等学校レベルでは、2004 年から数学および科学は英語で教えられている。第 2 言語として、すべてのマレーシア人が熟達し、流暢に英語を話せるわけではないが、他者と満足に意志の疎通を行うことができるだけの語彙は十分持っている。

意志の疎通を図るため、または初等あるいは中等学校における強制試験などの試験に合わせた英語学習のために、多くの英語講座が民間訓練センターにより計画されている。政府は現在、大学入学の要件に MUET (Malaysian University English Test：マレーシア大学英語試験)といわれる英語試験を課しており、卒業生の間の高い英語力の需要に重点を置いている。各学位レベルで研究を進めるために学校に応募する志願者はすべて英語に熟達し、試験に合格しなければならない。

【参考文献】

1. Ministry of Education (教育省) Website, <http://www.moe.gov.my/>
2. Ministry of Finance (財務省) Website, <http://www.treasury.gov.my/>
3. Prime Minister's Department, EPU (Economic Planning Unit), "8th Malaysia Plan."
4. Prime Minister's Department, EPU Website, <http://www.epu.jpm.my/>
5. 文部省編、「諸外国の学校教育 (アジア・オセアニア・アフリカ編)」、71 ページの表を一部修正、1996 年 10 月。